

平成30年度 第2回 八王子市社会福祉審議会地域福祉専門分科会	
日時・会場	平成30年7月25日(水) 14:00~15:40 502会議室
出席者	委員 黒岩亮子(日本女子大学) 篠原由紀子(市民委員) 添田繁實(市民委員) 堤直樹(八王子市民活動協議会) 山崎光嘉(八王子市社会福祉協議会) 山下晋矢(八王子市医師会) 山本英雄(八王子市民生委員児童委員協議会) 和田清美(首都大学東京)
	市職員 小峰福祉部長 小澤生活福祉担当部長 井上福祉政策課長 立川高齢者いきいき課長 野田高齢者福祉課長 小池障害者福祉課長 一杉生活自立支援課長 米村生活福祉総務課長 田島健康政策課長 市川地域医療政策課長 叶協働推進課長 澤田子どものしあわせ課長
欠席委員	小室崇司(八王子市町会自治会連合会)
次第	1. 開会 2. 議題 (1) 第2期八王子市地域福祉計画の総括について (2) 第3期八王子市地域福祉計画について ①包括的な地域福祉ネットワーク会議に向けて ②福祉圏域について (3) 地域公益事業を行う社会福祉法人の社会福祉充実計画の報告について 3. 閉会
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
資料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 諮問書(写し) 【資料1】 第2期八王子市地域福祉計画の重点課題に係る施策について 【資料2】 第3期八王子市地域福祉計画の進行管理方法 【資料3】 包括的な地域福祉ネットワーク会議に向けて 【資料4】 福祉圏域について ※参考資料 山本委員より意見要旨 【資料5】 地域公益事業を行う社会福祉法人の社会福祉充実計画の報告資料 ※参考資料 2法人の同計画書

会議の要旨

1. 開会

2. 議題

(1) 第2期八王子市地域福祉計画の総括について

事務局より【資料1】に沿って説明。

和田会長

平成28年度までの成果については前年度までの会議にて報告済みということで、第2期計画の進捗と評価についても第3期計画24～29頁に載っていますが、年度ごとの評価は行わなければなりませんので、平成29年度の成果について報告していただきました。

昨年度から大幅に変わったことはありますか。

井上課長

ありません。

和田会長

何か、御意見・御質問などがありますでしょうか。

ないようですので、了承いただいたということで、次に進みたいと思います。

(2) 第3期八王子市地域福祉計画について

進行管理方法について、事務局より【資料2】に沿って説明。

和田会長

第3期計画では、まず計画の体系があり、テーマごとの数値目標が設定されています。それを踏まえて年度ごとに評価を行うという説明がありました。

平成32年度・34年度は目標値について報告するというので事務局より説明がありました。それについての御意見はありますか。

黒岩委員

評価の内容について、2点質問があります。1点目は、年度ごとの評価は内部で事務事業評価を毎年行うということでよいでしょうか。

2点目は、活動指標の方は、外部委員がチェックや質問をするということでよいでしょうか。私たちの関わり方を教えていただければと思います。

井上課長

1点目の毎年の自己評価は、事務事業評価のようなものになります。

2点目の平成32年度・34年度は定量的な評価ができるようになっていきますので、毎年行う自己評価（定性的な評価）と、この定量的な評価を加えて、この分科会の中で議論していただきたいと考えています。

和田会長

我々の関わり方としては、自己評価されたものをチェックし、改善に係わるような意見を言うという、第3期計画の本冊81頁でいうところの「外部委員」という位置づけでよいということです。

①包括的な地域福祉ネットワーク会議にむけて

事務局より【資料3】に沿って提案。

和田会長

以上の事務局の提案について、御意見や御質問はありますか。

黒岩委員	【資料3】のA3資料の69の会議には防犯の分野が入っていますが、A4資料の4頁には入っていません。あえて除いたのでしょうか。
井上課長	防犯も、内容としては含まれています。
山本副会長	2点質問します。1点目は、ネットワーク会議はどのくらいの範囲（委員・圏域）を考えているのでしょうか。2点目は、町会・自治会など一般の方も出席する会議になるとすると、個人情報の問題で守秘義務をかける必要があると思いますが、それについてはどうお考えですか。
井上課長	1点目につきましては、新たに会議を作るというより、既にある会議の代表の方の集まりを考えています。代表者会の形を取ることで各会議での議論や取り組みの情報を全市的に共有したいと考えています。 2点目につきましては、その代表者の中には外部の方もいますので、外部の方がこの会議のメンバーになることも想定していますので、個人情報の扱いには注意が必要だと思います。
山本副会長	「包括的な地域福祉ネットワーク会議」という地域でのネットワークという意味では、事務局の考え方では地域と離れてしまうと思います。代表者を集めた会議はたくさんあるので、地域単位で集めた形にした方が良いと思います。
井上課長	民生委員さんでいうと地区協議会のようなイメージでしょうか？
山本副会長	もっと細かいです。せっかく中学校区という福祉圏域を設定するなら、色々な分野を包括して年1回37箇所で一斉にやって、それで全体の会議もやるということで合わせて年2回というならわかります。
黒岩委員	私も山本委員と同じで、この計画を作ったときは、福祉圏域の中にある地域福祉推進拠点で地域の課題を受け止め、それぞれ地域の課題を持ち寄り全市的な会議になるというイメージでした。そうでないとせっかく福祉圏域を決めた意味がないと思います。
井上課長	今現在は中学校区単位での活動は八王子市ではほとんどないので、事務局としては、福祉圏域でどのような活動ができるかを議論する必要があると思っています。そのための前段の会議体にするつもりでいました。そうではなく、福祉圏域ごとに設置した方がいいという提案でしょうか？
山本副会長	せっかく圏域を設定したのであればその方がいいと思います。福祉圏域の考え方を浸透させた方がいいので、計画のとおり動けばいいと思います。福祉圏域の話は議題②にあるので、説明していただけますか。
井上課長	福祉圏域の話が出たので、いったん議題②に移って説明させていただきます。
	②福祉圏域について
	事務局より【資料4】に沿って説明。
	山本副会長より、「福祉圏域について意見の要旨」に沿って説明。
山本副会長	中学校区を基準とする福祉圏域と民生委員協議会の地区割りは、面としては合致しませんが、個人個人の担当区を点と考えれば点の結びつきで一致させることができるので、問題ないと考えています。

山本副会長	地域福祉推進拠点、高齢者あんしん相談センター、子ども家庭支援センターはエリアで分かれています、「障害者・障害児支援事業所」については地域割りできていないので整理していただきたいと思いますが、障害者福祉課長、いかがですか。
小池課長	障害者支援では5つの支援事業所があります。それぞれの事業所は3つの分野（身体、知的、精神）で得意分野があり、連携しながら活動しているので、エリアで分けるのは難しいと思います。
山本副会長	地域で相談を受けた時は、一時的な窓口としては近くの事業所にいけばよいですか。窓口としてのエリアを決めることは可能でしょうか。
小池課長	現在でも近くの相談支援事業所で対応はしています。そこから繋げることも必要に応じて行っています。
山本副会長	ある程度、事業所の方に自分の所のエリアをPRして窓口となってもらって、内容による窓口の振り分けは事業所の方でやっていただければと思います。
	①包括的な地域福祉ネットワーク会議にむけて
和田会長	<p>それでは、福祉圏域の話を含めて、ネットワーク会議の議論に戻りたいと思います。</p> <p>先ほどの議論をまとめると、地域ごとに下から立ち上げるという形と、まずは会議の連合体から進めていく形、という違いかと思います。ただ、代表者会といっても、分野や団体の選択も難しいと思いますし、地域にブレイクダウンした時に、包括的な相談機能がまんべんなく送り込まれている状態にしないと難しいですね。</p> <p>本来なら、下から上がってくる形の方がわかりやすいのですが、今回の事務局提案は、まず全市的な会議を作ってその中で福祉圏域についても検討したいということですね。</p>
井上課長	そうです。
山崎委員	<p>先日、社会福祉法人の施設長会、保育園協会に集まいただき、社会福祉法人のネットワークを作って何ができるかを検討していくことになりました。</p> <p>各社会福祉法人が行う地域貢献事業とこの会議との関わりや、社会福祉法人以外の福祉、医療、保健、防災など他分野とどのような形でネットワークを組めるのか、具体的にどういう地域貢献に繋がるのかということがなかなか見えてこなくて難しいなと思います。</p>
和田会長	今までは個別に動いていたけれどもこれからは連携して、ということですね。
山崎委員	施設数も地域によって偏りがあり、地域性もあるので、地域にあった取組みも必要です。地域に合わせた圏域を作っていく方がよいのではと思います。
山本副会長	本当は地域福祉推進拠点がコーディネートしてこの会議を推進していくべきだと思います。地域で包括的なネットワーク会議が立ち上がらなければ、絵に描いた餅になってしまいます。
山崎委員	そうですね。

山本副会長	<p>拠点の中に中学校区がいくつかあるので、そこに落とし込んでいけばできるのではないのでしょうか。防犯防災については町会自治会が動いているので、そこ情報交換するのがいいと思います。</p>
和田会長	<p>このネットワーク会議は、第3期計画の本冊52頁の図で言えば下の部分の全市的なものということで、地域福祉推進拠点ではカバーできない分を吸い上げて専門的に解決するというイメージでしょうか。</p>
黒岩委員	<p>この全市的な会議に地域の声がなかったら何のための包括的ネットワークでしょうか。誰がリーダーシップを取るのか、それは地域の代表ではと思います。</p> <p>地域福祉推進拠点で地域福祉をやるというのが八王子市らしさで、福祉圏域が37もあると地域住民だけでは大変なので、さらに専門職や行政が入って必ずここに集約するという機能が「包括的な支援体制」だと思います。</p>
小峰部長	<p>例えば介護の分野でいうと、高齢者あんしん相談センターが行う「地域ケア会議」では専門職が案件を議論し対応を考え、それを持ち寄って全体で議論したものを施策に落とし込んでいく、という2層構造となっています。</p> <p>この会議も同じ構造で、地域福祉の現場で連携し、それを全体の中で反映していくイメージかと思います。</p> <p>全体会議がどこまで効果があるかという疑問はあると思いますが、専門的な方が集まって情報共有する場は必要だと思いますし、一方で現場の声を拾い上げなければ議論はできませんから、そのバランスが大事ということがわかりました。その辺りを配慮した中で、また構成を考えたいと思います。</p>
添田委員	<p>八王子市はNPO法人が多いので、NPO法人も連携を取る必要があります。社会福祉協議会は地域に密着していますので、そこにNPO法人も一緒に連携を取れる体制を作ってほしいと思います。</p>
井上課長	<p>NPO法人さんと社協さんとの連携も含め、今日の議論を踏まえて構築をし直して、10月の分科会でお示ししたいと思います。それまでに会議ができる時間がないので、できましたら正副会長と事務局に一任いただいて、形ができた段階で次回提示させていただきたいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
和田会長	<p>山本副会長、よろしいでしょうか。</p>
山本副会長	<p>はい。</p>
和田会長	<p>この会議の位置付けというのがちょっとあやふやですよ。</p>
篠原委員	<p>私の地域では、医療従事者、民生委員・児童委員さん、高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会の方、町会自治会の役員などを集めてケア会議の地域版をやっています。この会議が設置されることによって地域での会議で出た意見がどうなっていくのか、明確にさせていただけたらありがたいと思います。</p>
和田会長	<p>その機能をネットワーク会議に持たせるか、ということですよ。</p> <p>この会議の機能や役割というのが、第3期計画の51頁にある会議の項目と52頁にある支援体制の図と2つあってわかりにくかったかもしれません。</p> <p>今回の調査で、住まいですとか教育ですとか従来ではなかなか福祉には入ってこない分野も協議会があるということがわかったので、それも入れ込むよう</p>

<p>和田会長</p> <p>山下委員</p> <p>小澤部長 和田会長</p> <p>小澤部長</p> <p>黒岩委員</p> <p>小澤部長 和田会長</p>	<p>な形で次回までに事務局と一緒にたたき台を考えたいと思います。</p> <p>(3) 地域公益事業を行う社会福祉法人の社会福祉充実計画の報告について 指導監査課より、昨年度5月に開催した本会議にて貴重な意見をいただいたこのことについて、【資料5の1(社会福祉法人同胞援護婦人連盟 無料塾を中心とした取り組み)】、【資料5の2(社会福祉法人月峰会 障害未・非認定者向け就労・自立支援事業)】に沿って説明。</p> <p>ありがとうございました。 今の報告に対して何か御質問などはありますでしょうか。</p> <p>【資料5の2】で、障害認定を受けていない方への制度外の支援をするということですが、かかった費用は法人が出すのでしょうか？市からは補助は出ないのですか？</p> <p>社会福祉法人の地域貢献事業となるので、市からは出ません。</p> <p>【資料5の1】で、無料塾の方は今年度から事業化するということですが、新たに子育て世帯向けの事業が入ってくるということでしょうか？</p> <p>そうです。DVから逃げてきた親子が住む施設や児童養護施設にいる人、また援助を必要とする外国人も多く、コミュニケーションがなかなか取れない人などを法人の方で引き受けていただいたというのが最初です。市で実施する無料塾に来る子をこちらに通わせてもらうなど、連携もできています。手芸教室もそれが目的でなく手段としてコミュニケーションを取れるようにしています。無料塾は昨年度から始めていて、食事も出しています。</p> <p>【資料5の2】で、既存事業では高齢者福祉、児童福祉を対象としている中で、新たに障害者の制度外のこともやるというのは難しいと思っていましたが、実際にもなかなか苦勞されているように思います。市としては何か指導などを考えていたり、現実にある課題を把握したりしていますか？</p> <p>まだ確認できていないので、確認して、次の機会にお話ししたいと思います。今年度がまだ準備期間ですから、今年が大変なのでしょうね。</p> <p>他にありませんでしょうか。なければ、今日はこれで終わりにしたいと思います。ネットワーク会議について、ぜひ意見書を事務局に出していただきたいと思います。</p> <p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>議事録署名人</p>	<p style="text-align: center;">和田 清美</p>